

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年12月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103730
法人名	有限会社 友星メディカル
事業所名	グループホーム 笹貫の家
所在地	鹿児島県鹿児島市小松原一丁目1番2号 (電話) 099-268-2627
自己評価作成日	平成29年11月9日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www kaigokouhyou jp/kaigosip/Top do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年11月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当グループホームの理念である『あなたが今できることを大切に』『あなたの想いや家族の想いを大切に』を根本として温かい家庭的な環境で過ごしていただけるグループホームです。職員も家族の一員のように共に暮らしと一緒にさせていただきながら、ご利用いただの方々の支援をさせていただいています。毎月のように、ご利用者様やご家族様に喜んでいただけるような外出できる予定を計画実施しており、様々な場所の見学や買い物、お食事等々を通して、暮らしの中の楽しみ事の一つとなっています。お食事は、従事する栄養士資格のある職員が考案する献立内容で、栄養バランスのとれた食事内容となっており、季節に合わせた料理献立もあり、「お食事は暮らしの中でも最も楽しみの一つ」ということを大切にしています。またお食事等する上では、口腔管理にも力を入れており、協力歯科医院の口腔内の健康管理を定期的に行い、口腔ケアを大切にすることで、理念の一つである『いつまでも、おいしく食事がとれて、いつまでも元気に過ごせます』を日々心がけて実践しています。ご利用者様にとっての大切なご家族様や、馴染みある人の面会も毎日のようにあり、どなたでも、いつでもお気軽に嬉しいいただけるようなアットホームな雰囲気作りに努めています。小松原1丁目の町内会に所属しており、小松原1丁目町内主催の諸々の楽しい行事や活動にも参加したり、近隣地域の行事等にも参加していることで、ご利用者様が地域の一員として暮らしていただいている。当グループホーム裏手に市電が通っていたり、近くにはJR宇宿駅すぐ近くにはバス停もあり、公共交通機関をはじめ、交通には非常に便利な立地にあります。またほど良い距離に商店街や郵便局、銀行等々の地域資源も充実しています。従事している職員全員が元気で笑顔がある為、ご利用者様も自然と笑顔になられ、明るい雰囲気が印象的だと思います。理念の一つである『いつまでも笑顔の絶えないグループホームに』を最も大切に、ご利用いただいている、お一人おひとりを心から大切に、その方の心に寄り添う暮らしの支援ができるよう、取り組んでいるグループホームです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当ホームは町内会に加入し清掃作業や運動会・防犯パトロール・地域の行事等に参加し、日常的に地域と交流している。地域の夏祭りには入居者や職員が参加し、職員はひょっこり踊りに参加したり、認知症についての理解や支援方法を発信したりして地域と親しく交流している。
- 年間計画で利用者や家族との楽しい外出行事を計画し、家族との連携が密である。クリスマスのイルミネーション見物・新年会・桜の花見・敬老会での外食・買い物支援・外食・そうめん流し等、家族と共に楽しい生活がある。
- 毎月発行の「ささぬき便り」で利用者や事業所の様子が良く分かり、楽しい生活が良く分かる。
- 食生活を重視しており、『いつまでも美味しく食事がとれて‥』と理念にあるように献立に配慮し、口腔ケアにも力を入れている。
- 管理者は、職員の育成に力を入れ、ケアの質の向上を図り、利用者本位の質の高い介護サービスを目指している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の朝礼時に、勤務者全員で理念の唱和を実施し、理念を意識することでケアの実践につなげている。また毎月の職員ミーティングにおいても、理念を根本としたチームケアであることを意識づけ、日々のケアの実践につなげられるよう意識し心がけている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念があり、朝礼の時、職員で唱和している。玄関・フロアに掲げ毎月のミーティングに於いて振り返り、日々のケアを確認し実践している。個別に年間目標も作成し年末に振り返り全職員で反省している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らしつけられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域主催の夏祭りや運動会、敬老会等を回覧板や運営推進会議で情報を得て参加し、地域の諸行事を機会に、利用者が地域の一員として暮らせるよう支援している。また地域交流の円滑さを図る為、町内会にも加入し、町内会が行う防犯パトロールにも参加して地域の方々との交流を図れている。	地域で行われる運動会等に利用者が地域の一員として参加している。夏祭りには職員もひよっこ踊りに飛び入りしたり、終了後は会場の撤去作業も行っている。日頃から町内会の清掃作業やゴミ収集・防犯パトロールに参加したり、サマーボランティアの受け入れ・NHK合唱団・幼稚園児と広く交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	定期的な運営推進会議を中心に、地域参加者に当事業所の取り組みや運営状況の中で、認知症の人の理解や支援方法を発信し、時には認知症関連の内部研修も実施している。また当事業所が行う慰問交流会に地域の方もご案内し、利用者との交流を図ることで認知症の人の理解や支援方法をお伝えできるよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	概ね2ヶ月に1度の運営推進会議に地域の方や家族様、市職員等に参加いただき、当G Hの運営状況や取り組みを話し合い、会議でいただいた、ご意見をサービス向上につなげられるような運営推進会議を開催できている。	定期的に2ヶ月毎に開催している。事業所の現状・行事報告・運営状況・内部研修等の報告を行い、意見交換している。町内会長や民生委員・家族・地域包括支援センター職員等からの意見をサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の福祉事務所担当者や、介護保険課担当者とこまめに連絡を取り合い、利用者の日常の様子や困りごと等の報連相を日常的に行い、協力を得られるように努めている。	市の担当者とは窓口に出かけたり、電話で相談やアドバイスを受けるなど連携を密にしている。市主催の研修会には積極的に参加して、内容をミーティングで報告している。介護相談員の助言も受け協力関係を築き取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月の職員ミーティングにおいて、身体拘束に関連した事項を話し合い、注意喚起を促している。また定期的な内部研修において、「身体拘束がもたらす弊害」等をテーマに行っている。各階の地域交流室には身体拘束についての掲示物を掲示し、日常的に身体拘束について、職員全員が周知と意識づけを行っている。また別に「身体拘束廃止」に関するファイルを作成し、定期回覧と周知理解を促している。	身体拘束廃止委員会が中心となり、毎月の職員会議やミーティング・内部研修を行っている。マニュアルを作成して「身体拘束の弊害」について研修を行い言葉の拘束も含め、支援している。玄関の施錠はせずに外出希望の利用者には職員で連携して、公園や買い物に同行する等、拘束しないケアに取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	毎月の職員ミーティングにおいて、高齢者虐待についてを話し合う機会を設け、時々は報道等である具体例を示して、管理者及び職員は、高齢者虐待について把握理解している。また地域交流室に虐待に関する掲示物を掲示して意識づけしており、虐待関連のファイルも作成して回覧している。			
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日常生活自立支援事業や成年後見制度について、定期的な内部研修で学ぶ機会を設けている。現在、上記に該当される利用者はいないが、日頃から学びや研鑽を深め、今後において活用できるような支援をしている。			
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時の説明は、懇切丁寧を根本とし、利用者や家族の不安や疑問点を細かに尋ね、理解同意と納得される説明を心がけて取り組んでいる。また改定等においては、毎月のお便りを送付する際に別紙でのご案内や、家族会議にてご説明し理解同意を得ている。			
10	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日常的に利用者や家族より、相談や意見をこちらからお尋ねし、気兼ねなく話せる関係性構築に努めている。玄関に「ご意見箱」を設置している。相談事やお困り事、ご意見をいただいた場合は、職員間で協議した上で運営に反映できるよう努めている。	利用者からは日常の言動や気づきを介護ノートに記録している。家族からは面会時や運営推進会議等、機会を捉えて声かけし思いを聞いている。相談ノートの記録からも把握している。出された意見や要望は、職員間で話し合い運営に反映させていく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者はや管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	管理者は、月々の職員ミーティングやカンファレンスにおいて、運営に関する職員の意見や要望や提案を聞き、それを代表者に管理者は相談報告できるように努めている。	ミーティングやカンファレンスの時に意見や提案を聞いたり書面で提出してもらっている。日頃から、話易い雰囲気づくりを心がけており、コミュニケーションがとれており、職員の気づきを大切にしている。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を常時把握し、仕事のやりがいや向上心を持って働くような職場環境の整備等に努めている。またスキルアップの為の研修案内や、資格取得の為の支援等も行っている。		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	代表者は、管理者や各職員のケアの実際や力量を把握し、定期的な法人内部のテーマに沿った研修案内を提案し、外部主催の研修においても定期的に案内をし、職員各位のスキルアップにつなげられるような枠組み作りを実践している。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	毎月の系列GHの管理者会議を行い、管理者は他管理者や関係者との情報交換や交流できる機会を得ている。また系列GHや関係同業者と、地域の催しに参加することで、地域交流をはじめ職員間の交流やネットワーク作りをし、サービスの質向上に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	利用者がサービス利用開始の段階で、本人の困りごとや不安なこと、ご要望を傾聴してアセスメントし、本人の安心を確保できるような関係づくりに努めている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	利用者様がサービスを開始する段階で、家族様等の困りごとや不安なこと、ご要望を傾聴しながら、安心してサービスが受けられるような関係性つくりに努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	本人様と家族様がサービスを開始する段階で、その時に必要とされている支援を見極め、全職員での情報共有と把握を行い、他のサービスも含めた柔軟な対応に努めている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	本人にとって、家庭的で温かい環境となれるよう配慮し、本人の持てる残存能力を見極めながら、暮らしとともにする者同士ということを職員は意識しており、家庭的な環境の下で暮らせられるような関係つくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	事業所の理念にある通り、家族の想いを大切にして、家族の想いや意向を尊重して、本人と家族の絆を大切にしながら、寄り添い支えられるような関係を築けるように全職員が日 常的に努めている。			
20 8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人にとっての、馴染みある人や場所をご家族にお尋ねし、本人や家族と情報共有しながら、馴染みの人や場所との関係が途切れないように家族にも協力をいただきながらの支援に努めている。(例)行きつけの理容店や住んでいた地域等	馴染みの人や場の関係をアセスメントや日常のケアの中で把握し、美容室・墓参り・買い物・祭り等、家族と連携をとっている。友人の訪問もあり、お茶を出してゆっくりしてもらっている。受診の帰りに家の近くまで行ったり、自宅で半日過ごすこともある。馴染みの人や場との関係が途切れないように家族の協力を得て支援に努めている。		
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係性を把握し、関係性を考慮した席の配置や配慮を行い、トラブルや孤立が発生することの無く、相互に支えあいができるような支援に努めている。			
22	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	事情により退去された方々や家族様とは、これまで通りに関係性を大切にし、退去された方々の近況等をお聞きしており、相談や支援に努められるように取り組んでいる。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>暮らし方の希望や意向を伝えられる方には、傾聴して把握に努め、意思等を伝えられない方には、ご家族様にも力添えいただきての、暮らしの希望や意向の把握に努め、なるべく本人本位に検討できるような支援作りをしている。</p>	<p>日頃の会話や表情で把握し言動を記録している。困難な利用者には家族とのコミュニケーションを図り、協力を得て、本人を中心の支援を行っている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>事業所の書式を使用し、これまでの生活歴やご自宅等での馴染みある暮らしや生活環境を理解把握し、努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>毎月のケアカンファレンスや臨時のカンファレンスを開き、お一人おひとりの過ごし方や心身状況の把握に努め取り組んでいる。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>サービス担当者会議時に、本人がより良く暮らせる為のニーズを含めた事柄を話し合い、暮らしに対してのご意見の反映や月々のカンファレンスで職員からの意見や提案も含めての介護計画の作成を実践している。</p>	<p>本人がよりよく暮らすための課題と意見を、日常のケアの中や毎月のカンファレンスで把握して、家族・主治医の意見を入れて、担当者会議で介護計画を作成している。モニタリングは毎月を行い、状況が変化した時はその都度見直しして、現状に即した介護計画を作成している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のケアケース記録を作成したり、カンファレンスシートに担当者が日頃の気づきを記載して情報共有を行い、ケアの実践や介護計画の見直し等に活かすことができている。			
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日常的に既存のサービスに捉われることなく、本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに柔軟な対応をしており、事業所の多機能化に取り組んでいる。			
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	定期的に行っている外出レク等の支援を行い、地域資源を活用した取り組みをしている。また近隣の他法人のケアハウスと協働での交流会を地域住民の方々も交えて開催し、暮らしを楽しめる取り組み支援を行っている。			
30 11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医を本人や家族の希望に配慮し大切にしながら、受診支援ができることで、本人や家族にとっての適切な医療を受けられ、健康管理に努めている。またかかりつけ医との関係も随時構築しながら、その人にとっての必要な医療や相談等を行っている。	かかりつけ医は、入居後も本人・家族の希望する医療機関で受診している。協力医には職員が同行している。受診に家族が同行した時は『心身状況報告書』を付けている。受診後は、所見が記入され返書がある。歯科は通院や往診で対応している。他科受診は家族が同行し、眼科・皮膚科には職員が対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	事業所に勤務する准看護師資格のある職員に日常的に利用者の健康状態等について助言をもらい、また往診時や通院時に看護師に助言等をいただきながら、適切な医療が受けられるよう支援している。			
32	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院が発生した際は、入院の経過や退院に向けての話し合いの場を設けていただき、家族も含めて病院関係者との連携や情報交換相談等に努め、なるべく早期の退院となれるような関係づくりに努めている。			
33 12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化及び終末期についての方針を書面として、家族に説明と提示を行い、現在、当事業所としては看取り等行わない旨を示しているが、重度化や終末期に該当される方には、できる限りぎりぎりまで事業所として支援できるよう努め、職員にも毎月のミーティングやカンファレンスで重度化や終末期についての説明と理解を得られるよう取り組んでいる。	入居時に重度化や終末期に際し『重度化や終末期介護指針』を基に説明して同意を得ている。状況が重度化や終末期に変化する過程において、再度説明している。事業所でできることを十分説明しながら、家族に理解を得られるよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な消防避難訓練時に、心配蘇生法や急変時の対応についての指導を受けて、意識付けを行っている。また病院関係者とも連携しながら急変時の対応についての指導をいただき実践力を身に付けられるよう努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な災害等避難訓練において、避難方法や災害についての知識を学び、非常災害時において実践できるよう努めている。また運営推進会議時に、地域の協力も得られるような働きかけを依頼し、協力体制を築けるように努めている。	消防署立ち合いのもと、夜間や地震を想定した災害・避難訓練を町内会長・民生委員・家族が参加して行い、分遣隊から指導や助言を受けている。各部屋の上部に非常灯が設置してあり、誘導経路・避難場所・非常通報装置の確認等をしている。自主訓練も実施している。地域の協力がある。災害時の米・缶詰・水・備品等を備蓄している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	言葉は心の発露であることを、常日頃から職員に訴え、人生の大先輩であることを根本に、お一人おひとりの人格を尊重した上での、心ある言葉かけや対応ができるようにしている。	マニュアルを作成し、権利擁護や接遇等、内部研修を実施している。日頃から人格の尊重とプライバシーの確保については、配慮し対応している。入浴・トイレ介助・名前の呼び方・声かけ等、ミーティングでも話し合い取り組んでいる。	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	日常的に良質なコミュニケーションを図りながら、本人の想いや希望を汲み取れるよう配慮心がけ、自己決定ができるような関わりや働きかけを行っている。		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	お一人おひとりの、その日のペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか等の希望に沿った支援を行い、本人本位に過ごすことができるよう心がけている。		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	その日に身に付けていたい衣類や装飾品、身だしなみを大切にし、ご自分で選べるような支援をしている。時に家族にも協力いただき、どのようなお洒落等が好みかをお尋ねするよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	その日の献立を事前にお伝えし、楽しい食事となれるようイメージしていただきながら、野菜の下準備をはじめ、味付けの確認や準備を行い、片付けもできる方には手伝っていただき、毎日当番製でのお盆拭きを順番で担っていただいている。	嗜好調査を行い、栄養士の資格のある職員が献立に配慮して、旬の食材を使用し形態にも気配りして、楽しい食事になるよう取り組んでいる。味見・野菜の根切り・盛り付けなど、利用者と一緒に調理を楽しんでいる。花見・敬老会・正月等、楽しみの行事食も支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分量が明確にわかる表を作成し、摂取量の把握と情報共有を職員間で行っている。また個々に合わせた支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後は必ず口腔ケアを声かけ促し、口腔状態の健康管理に努めている、また協力歯科医院に通院または往診してもらい、利用者の義歯調整をはじめ、口腔管理をしてもらっている。毎夜は消毒剤を使用しての消毒に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターン表を作成し、一人ひとりの排泄パターンや状態、習慣を活かすことができている。なるべく失敗の無いように努めているが、失禁のあられる方に対しては、不快となるよう下清拭をこまめに行い、スッキリできるような支援を行っている。状況によってはオムツはずしも実践している。	排泄チェック表を作成して、個々のパターンを把握し、トイレでの排泄を支援している。本人の希望で、夜にトイレでの排泄者もいる。リハビリパンツがほとんどである。オムツから改善された事例がある。便秘対策に繊維の多い食材を使い、水分・運動・栄養に気配りして、自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	栄養士考案の献立内容に、繊維を多く含む食材を使用した献立となっており、また毎日朝10時にヨーグルトや牛乳を召し上がっていただけるよう、便秘改善に向けて取り組んでいく。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2～3日の入浴支援を隨時実施している。また本人のその日の体調の見極めや希望を把握しながらの入浴をしていただき、入浴剤を使用したり、季節によっては柑橘類を使用しての、入浴が楽しみとなれるような工夫に取り組んでの支援を心がけている。	週に3回が目安であるが、体調や気分を配慮して、柔軟な取組みを行っている。入浴剤を使用したり季節によっては、柚子湯・菖蒲湯で入浴を楽しむことができるよう、個々に応じた入浴の支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりのこれまでの生活習慣を把握し、短時間の昼寝の推奨や、天気の良い日は日光浴をしていただいたり、夜間の安眠につながれるように、就寝前のホットミルク等の提供をしての支援に努めている。			
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	かかりつけ医等に処方された内服薬は、職員は症状に合わせた薬の目的や用法用量を理解し、服薬支援することでの症状の変化の確認を状況共有しながら努め、配薬される薬剤師にも指導をいただきながらの支援に努めている。			
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	これまでの生活歴や好みを随時確認しながら、その人の持てる力を把握した上で役割を各利用者に担っていただき、役割があることで生き生きとした姿で過ごすことができるよう努めている。定期的に外出の機会をもち、全員であったり個別での買い物等もできるよう支援している。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人ひとりの希望を抽出し、出かけてみたい所にでかけられるよう、家族様にも協力をいただきながらの支援に努めている。また定期的に全員や個別での外出する機会を設け、地域資源を活用した外出支援に取り組んでいる。	日常的には近隣の散歩を行っている。個々の希望により買い物やドライブ・四季折々の花見・クリスマスはイルミネーション見物等のドライブをしている。家族の協力もあり、毎月1回は外出している。法人のリフト車でイオンモールで買い物をしたり、レストランで好みの食事をしたり、家族と共に楽しいひと時を過ごしている。年間計画をたてて本人の希望を把握して定期的に外出支援に取り組んでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人がお金を持つことでの安心感や自尊心に対して職員は配慮し、買い物外出時等では、本人がお金を使えるように支援している。個々の預かり金(お小遣い等)を管理し、出納帳を作成して金銭管理をしている。中にはご自分でお金を持っている方もおり、家族に同意していただいている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人様が電話を希望される時は、電話連絡できるよう隨時支援している。また手紙のやり取りの支援もし、年末には年賀状を書いてのやり取りをもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって不快とならないような環境整備に努め、室温や明度等の環境にも過ごしやすい適度な調整を随時している。また季節がわかる壁面作りや生活が楽しめるようなレイアウトを、利用者様と共に作成している。	ホールや食堂は広く、柔らかな陽射しが差し込み明るい。壁には手作りの作品や行事の写真が飾ってあり、生活の楽しい一面が見える。室温・湿度の管理もよく照明も柔らかで、生活感や季節感を取り入れ居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや椅子を設置し、利用者同士で過ごしたり、一人になれるような配慮ある環境整備や居場所の工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人にとって馴染みある家具類や物品を持ち込んでいただき、家族とも相談しながら、写真の掲示や好みのインテリアで居室内で快適に明るく過ごせられるようなレイアウト作りに協力いただき、居心地よく過ごせるような工夫や配慮に努めている。	ベッド・エアコン・洗面台が設置してあり、家から持ち込まれた馴染みのタンス・寝具・家族写真・仏具が置かれている。ぬいぐるみや好みのものを飾り、居心地よく過ごせるように工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレ内、浴室や階段に、手すりを設置したり、居室前には個別の表札を設置したり、トイレや浴室にも場所がわかる貼紙をしていることで、自立した生活が送れるように工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまに
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
		<input type="radio"/>	2 少しづつ増えている
		<input type="radio"/>	3 あまり増えていない
		<input type="radio"/>	4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない